

# 吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会  
発行責任者 会長 平本 祐二  
発行年月日 令和4年（2022年）3月吉日



しめ縄や書初めは、組まれた竹の塔のまわり  
にセットされ、お焚き上げの準備は完了。  
年男年女によって火はつけられ、あっとい  
う間に燃え上がる。  
お焚き上げの火を見ながら、無病息災を願う。

## 第23回 とんど祭り 吉島学区

令和4年1月9日（日）吉島小学校にて、2年ぶりの「とんど祭り」が開催された。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、入場の際のチェックシートの記入、太鼓と踊りの自粛、ぜんざい・お神酒は振舞わない、来賓を招待しないなど、今までにない様々な規制を強いられた。そんな中でも年男年女の皆さんによって点火された炎は空高く燃え上がった。今年こそ、コロナ終息を願いたい。



たくさんのわらを少しずつ小さい束にする作業。

直前まで、開催するかどうかかわからない状態でしたが皆様のご協力のお陰で開催にこぎつけることができました。感謝しております。

とんど祭り実行委員長  
能登谷 秀一さん



4本の竹の柱を起し立ててみる。



全体のバランスをとるため、竹の下の方を切りそろえる。

天候にも恵まれ無事に終わってホッとしています。お手伝いいただいた方、ありがとうございました。今年こそ町民の皆様にとって良い一年になりますようお祈りいたします。

吉島学区社会福祉協議会会長  
平本 祐二さん



お手伝いいただいた皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

# 寅年生まれの方からひとこと



## 森山幸枝さん（84歳）南吉島2丁目

年女です。やりたいことはいっぱいあります。パタンクを上手くなって頑張りたい。土手の草取りなど、誰かのお役に立てることを続けていきたいと思います。

## 繁高秀樹さん（60歳）吉島西1丁目

今年で5回目の年男となり、今回は人生の節目となる還暦を迎えます。60歳定年を迎え第二の人生と言いたいところではありますが、仕事も引き続き嘱託雇用となる予定で、今までどおりと変わりのない生活です。

これからも健康には留意し、元気で地域活動にも尽力したいと思います。

## 山口千穂さん（12歳）

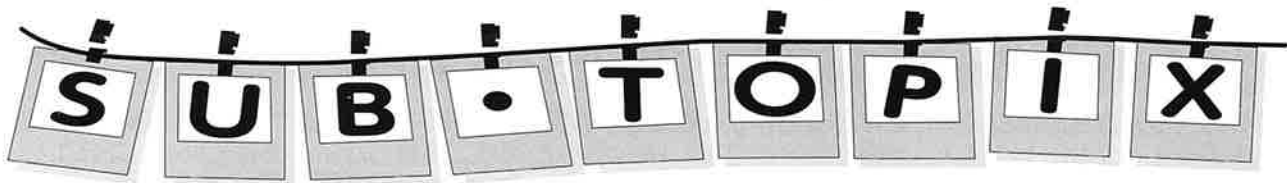
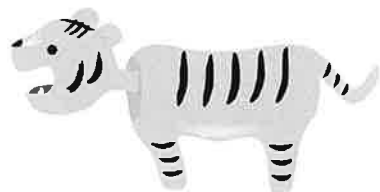
わたしはとんど祭りに友達と行きました。火がこわかったのでもうおとくで見ていました。だけど年女なのでたいまつに火をつけました。あつかったのでさきをもってつけました。

つけたらはんしがいっぱいとんできて、しかもはんしに火がついてとてもこわかったです。そのあとちょっとはなれて友達とみていました。とちゅうで竹がたおれてびっくりしました。火はだいぶんきえかかったときに、ちょっとちかくでみてめっちゃ葉っぱが黒くなっています。ことしも良い一年になってほしいです。

## 中村心海さん（12歳）

今年のとんど祭りは、毎年とちがい、もちを焼いて食べることができないなど中止になったこともありましたが、友達といっしょに火にあたって話をして楽しみました。

とんど祭りは、その年の年女・年男の人が竹に火をつけます。私も年女だったので火をつけました。ずっと私も火をつけたかったのでとても思い出に残りました。



## 門松づくり

—竹とり物語から始まる—

12月19日（日）師走の早朝からそれは始まる。今年もこの時期がきましたね！なんて言いながら十数人の大人が3台の車に乗り込み現場へ向かう。現場についたら山の中に入っていく。竹選びだ。200メートル程入ったあたりで、真っすぐで太い竹を電動ノコギリで切っていく。1本の竹から取れるのは3本ほど、門松は吉島学区の小学校3校を含め5セット作るの、少なくとも30本は必要になる。予備も含めて36本は運び出したらどうか。最初はしゃべりながら運んでいたが、次第に口数が減っていく。

吉島中学校に戻って午後からいよいよ門松作りだ。中学生のボランティア18名達と地域のボランティア20名（竹取班も含む）が協力して作り上げていく。鉢の中に3本の竹を組み、パランスよく並べ真砂土を入れていく、そしてポタンの花や松の枝や南天などもパランスよく配置していく。最後に鉢に藁を巻いて完成だ！それぞれの門松には作り手の個性が出て、どれをとっても立派な門松に仕上がっていた。

当日は寒さの厳しい日だったが、最後は皆完成した作品に満足した良い顔で記念撮影に収まっていた。（小川太一）



## 年末の清掃活動



暮れの押し迫った令和3年12月24日（金）午前9時、きれいな町で新年を迎えようと吉島中学校生徒と吉島学区の各町内からの参加者約100人が吉島西公園に集まった。

まずは各町内に分かれ、あらかじめ担当する区域の地図を持った中学生リーダーがグループを先導する。お年寄りから小さな子どもまでゴミを見つけては分別し、それぞれの袋に入れていった。普段は気がつかない小さなゴミも清掃活動となると目につく。10時過ぎには公園に戻り解散となった。

参加した中学生は、「タバコの吸い殻が多かったのにはびっくりした。」「ゴミを拾ってきれいになって気持ちよかった。」「地域の人たちと一緒にできて楽しかった。」と話してくれた。



# スマホで「よしじま」の魅力を発信！！

元安川と本川に囲まれた、旧広島市内の真ん中の小さな中洲が「よしじま」。そこには素晴らしい景観があり、さまざまな地域行事が、地域いっぱいの人々の交流やふれあいがあります。

この度、吉島公民館では、スマートフォンを使って手軽にできる、SNSを活用したまちづくりとして「よしじまお宝写真館」を開催。スマートフォンで上手に写真を撮影するコツを学んで、Instagram（インスタグラム）で、地域をテーマにした写真を掲載することとしました。

「インスタ映え」という言葉が流行語となってから、約4年の月日が経過し、ユーザー数は世界中で10億人を超え、若い世代の間では最新トレンドを検索するツールとして日常的に使われています。

◎写真を通して視覚的、効果的に地域の魅力を伝えられる

◎テレビや新聞を見ない人にも、地域の最新情報を届けられる  
など地域の情報を発信するにはもってこいです。

**「よしじまお宝写真館」をハッシュタグにして、地域の魅力を発信・共有しちゃいましょう！**



吉島公式 Instagram



フォロー ミー  
Follow Me!



※少しでも気になった方は、お気軽に吉島公民館（TEL082-246-4121）へお問い合わせください。

## おめでとうございます

### 令和3年（2021年）表彰された方々および団体

広島市安全なまちづくり功労者表彰

青木 操 様 (光南2丁目)

井出 清美 様 (吉島西1丁目)

広島市青少年健全育成功労者表彰

【青少年指導員】

繁高 秀樹 様 (吉島西1丁目)

鶴永 啓子 様 (吉島西3丁目)

広島市青少年健全育成連絡協議会会長表彰

【地区（学区）青少年健全育成連絡協議会役員】

梅田 哲司 様 (吉島西2丁目)

広島市環境美化功労者表彰

【団体の部 環境美化精励表彰】

医療法人社団 絆 デイサービス縁〜ゆかり〜 (光南2丁目)



# 吉島学区老人クラブ連合会 カラオケ同好会



学区老連カラオケ同好会はメンバー11名。毎週火曜日老人集会所にて活動している。お世話されているのは、南吉島の古谷比沙子さん。毎月2曲の課題曲を選曲しメンバーの全員に歌詞カードとダビングしたテープを配布、それが宿題となり各自が家で練習してくるといったシステムになっている。メンバーの皆さんは、古谷さんが準備をしてくださるのでありがたいと言う。

「最初の頃は、声が出ず悩んだが、今では大きな声で歌えるようになった。」

「一番の楽しみは、大好きな歌を思う存分歌えることが何より嬉しい。」と、笑顔で話してくれた。

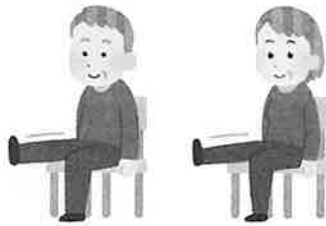
カラオケ同好会は、「楽しくて、ボケ防止になって、みんな仲が良い」

目指すは、学区老連主催の敬老会・カラオケ発表会だ。

今年こそあの舞台に立ちたいと、日々練習に励む。



## 元気でおろうや！「百歳体操」



介護予防拠点事業

### “いきいき百歳体操”のご紹介

“いきいき百歳体操”は、日常生活を送るうえで必要な筋力を高めることを目的とした体操です。椅子に座ってゆっくりとした動きが中心なので、体力に自信のない方でも安心して行えます。

現在、吉島学区では5カ所で百歳体操を開催しており、95才の大先輩から50代の若い方まで総勢150名の方が参加しています。

百歳になっても元気に体操できる体作りを目指して、多くの方に参加して頂きたいと考えます。

### いきいき百歳体操の開催場所を探しています！

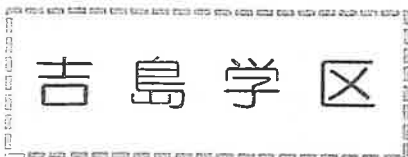
空き店舗、集合住宅など。10名程度集まれる場所ならOK！“そういえば”と、思い当たる場所がある方、吉島地域包括支援センター(082-545-1123)までご連絡お願い致します。

### 編集後記

コロナに振り回されて早や2年。「福祉だより」も思うように取材ができない状態が続いています。それでも、自粛解除の合間を縫って何とか記事を起こし発行にこぎつけている状態です。皆様から「取材に来て！」の声が殺到する日が来ることを心待ちにしております。 尾上真弓



光2サロンの様子



※「おじゃまします」はお休みします。